

教育奨励賞 (末丸賞)



西木 禎一

略 歴

- 昭和62年3月 大阪府立大学農学部獣医学科卒業
平成元年3月 大阪府立大学大学院農学研究科（獣医学専攻）
博士前期課程修了
平成元年4月 武田薬品工業株式会社中央研究所研究員
平成6年3月 大阪府立大学大学院農学研究科（獣医学専攻）
博士課程修了
平成6年3月 三菱化学生命科学研究所特別研究員
平成8年4月 日本学術振興会特別研究員PD
平成10年4月 三菱化学生命科学研究所准研究員
平成11年8月 米国デューク大学医学センター神経生物学部門研究員
平成14年8月 米国デューク大学医学センター神経生物学部門
上級研究員
平成17年11月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞生理学分野
助手
平成19年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞生理学分野
助教
平成25年3月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞生理学分野
准教授
現在に至る

業績要旨

医歯薬学総合研究科医歯科学専攻（修士課程）の教育実施体制の基盤構築ならびに人材輩出に関わる活動を続けてきた。主な活動の一つは、持続可能な募集説明会の組織的運営体制の構築である。その結果、運営者が代わった平成26年以降も説明会が盛況かつ円滑に開催され、毎年定員の約2倍の参加者を得ている。次に、不十分であった鹿田キャンパスにおける就職支援環境を整備するため、キャリア開発センター、学生支援センター、図書館、情報統括センター、学務課を連携させ、育成した人材を順調に輩出する支援体制を構築した。最後に、学生が関わった研究業績ならびに修了後の進路の情報を収集、分析し、本専攻の教育成果の把握に不可欠だけでなく多様な進路を目指す学生に有益な資料を作成した。このような活動の成果は、過去数年間にわたる安定した入学志願者数および定員充足率、さらに就職状況に顕れている。このように、基盤学部を持たない同専攻が優秀な大学院生により持続的に定員充足し、本学大学院における医学教育の更なる発展が期待できる体制が構築されている。